

## (仮称)根本市民センターの整備方針等についてのパブリックコメントの結果

「ご意見の内容」につきましては、個人情報を除き、いただいたご意見をそのまま掲載しております。

<p><b>ご意見の内容</b></p>	<p>幅広い世代の方々が利用できるという観点から、ある程度充実した図書館を入れていただきたいと思 います。 多治見市図書館は蔵書も多く快適なのでよく利用していますが、駐車場の少なさや市内中心部へ向か う際の渋滞などで、利用が億劫になりがちです。 市内北部の市民が気軽に立ち寄れるような図書館があれば、より多くの人に本を読む機会が生まれるの ではないかと思ひます。</p>
<p><b>ご意見に対する 多治見市の考え方</b></p>	<p>現在、各公民館には図書室を設置しています。(仮称)根本市民センターも公民館機能を主に、他機 能をも兼ね備える複合施設として建設する計画ですので、他の公民館と同規模の図書室の設置を検討し ています。 公民館は図書館本館と連携を図っており、(仮称)根本市民センターにおいても他の公民館と同様に、 図書館本館の図書の貸出し等ができるようになります。</p>
<p><b>ご意見の内容</b></p>	<p>これからの多治見市の公共施設のモデルとして、関心を持ち、大いに期待もしています。要望は、「シ ステム設計をきちんと実施し、公開し、市民の意見を聴く」プロセスを実施してもらいたいことです。 システム設計とは、目的、機能、問題認識を関係者で共有して、明確にし、ハード(施設、備品)と ソフト(運営、利用)が融合した機能最大、コスト最小の設計を行うことです。システム設計を中心に、 創造的なまちづくり活動を立ち上げることもできると思ひます。 市民の要望を聴いて、仕様を作り、なんとなく予算に合わせてハコモノを設計するという形でなく、 きちんとした論理的、創造的な枠組みで取り組んでもらいたいものです。 日本一の公共施設を作るといふ意気込みで取り組みれば、多治見市を日本一暑い市ではなく、日本一熱 い市として全国にPRでき、視察者が殺到するでしょう。  ちなみに、私は多治見市の公共施設あるいは公共事業のあるべき姿を下記のように考えています。  目的、問題認識、基本計画が明確で、市民と共有化され、公開されていること。(行政のビジョン が明確なこと。市民のサービス要求に対応するだけでは地域の活性化はできない。) 統合的、組織横断的、複合的で、多治見市での位置づけ、他施設との関連が明確なこと。(市の1 部門だけが関係する視野の狭い公共施設や重複した公共施設はいらない。) 市民参加型であること。(管理運営への市民参加。市民の意見を広く、まじめに聴くこと。市民の 意見を無視しないこと。お客から市民への市民意識変革の啓蒙、指導。) 目的意識、問題意識が明確で、地域、施設経営、市民参加を推進できるスーパー職員が一人はいる こと。(指定管理者への丸投げはやめてもらいたい。何のために仕事をしているのかと疑問を感じ る職員もいる。) 既存の施設、資産を活用すること。(遊んでいる施設が多い。) 公共的成果/コスト、利用者一人当たりのコストが明確なこと。(公共的目標は何か、建設費、運 営費、間接経費を含めた総経費を明確に。) 継続性、展開性があること。(行政が手を引いても、継続できるような仕組みを考えて計画する。) 見直しがきちんと行われ、状況の変化に応じて変革できること。(見直しが行われていない、ある いはお座なり。施設の継続、閉鎖の判断がよい加減。) 外部に発信できるような新規性、独自性のある公共施設、事業であること。(日本一暑いまちだけ しか発信できないのは情けない。) 市外、市民に向けて主体的、積極的に情報発信すること。(ネットの活用。情報発信、交流の場を 作る。) 市会議員が市民と行政の橋渡し役として、上記に積極的に関与すること。(利権的に関与すること など論外!)</p>
<p><b>ご意見に対する 多治見市の考え方</b></p>	<p>(仮称)根本市民センターの建設に際しては、今後も市民の皆様のご意見を伺うこととしております。 今回いただいたご意見につきましては、今後設置を予定しています(仮称)建設検討委員会での検討の 際にも参考にさせていただきます。</p>